

性能設計の技術基盤を考える

原田和典

京都大学工学研究科建築学専攻



「性能設計」の略史

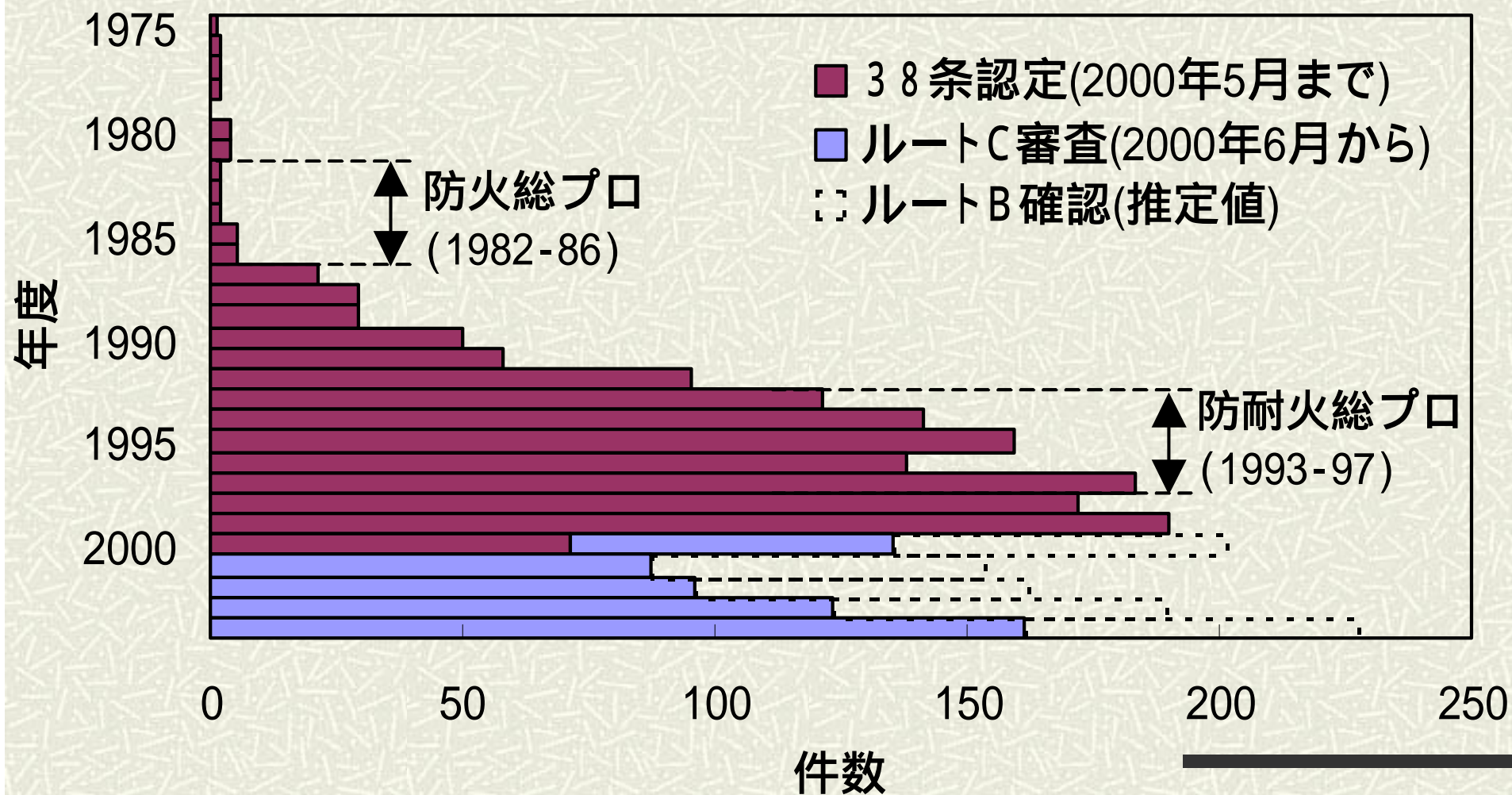
■ 防火総プロ (~ 1986)

- 総合防火設計法
 - 設計火源 - 許容判定基準

■ 38条認定の本格運用

- 法規と「同等以上の」安全
- (実態) 法規よりも(十分)安全
 - 防災計画評定との二人三脚
- 同時に落とし穴も・・・「センセイ」任せ？

認定件数の推移



性能規定の導入

■ 防・耐火総プロ (~ 97)

■ 性能評価法の導入

- 透明性・客観性のある方法
- 専門家による高度な方法

■ 建築基準法改正 (1998 ~ 2000)

- ルートB 性能設計の普及
- ルートC 新技術の受け入れ

性能規定化して良かったこと

⌘ 性能設計の認知

- 建築設計者が挑戦
- 一級建築士試験にも出る！

⌘ 透明性・客観性の確保

- 設計火源と判定基準の統一
- 「最低限」の明確化

性能規定化して困ったこと

⌘ 検証法の硬直性

- 別法で設計するとなかなか認可されない
- ルートCでも検証法と変わり映えがしない

⌘ 防火のプロはもう要らない？

⌘ 合理的な方法は他にもあるはず。設計のメニューをどうやって増やしていくか？

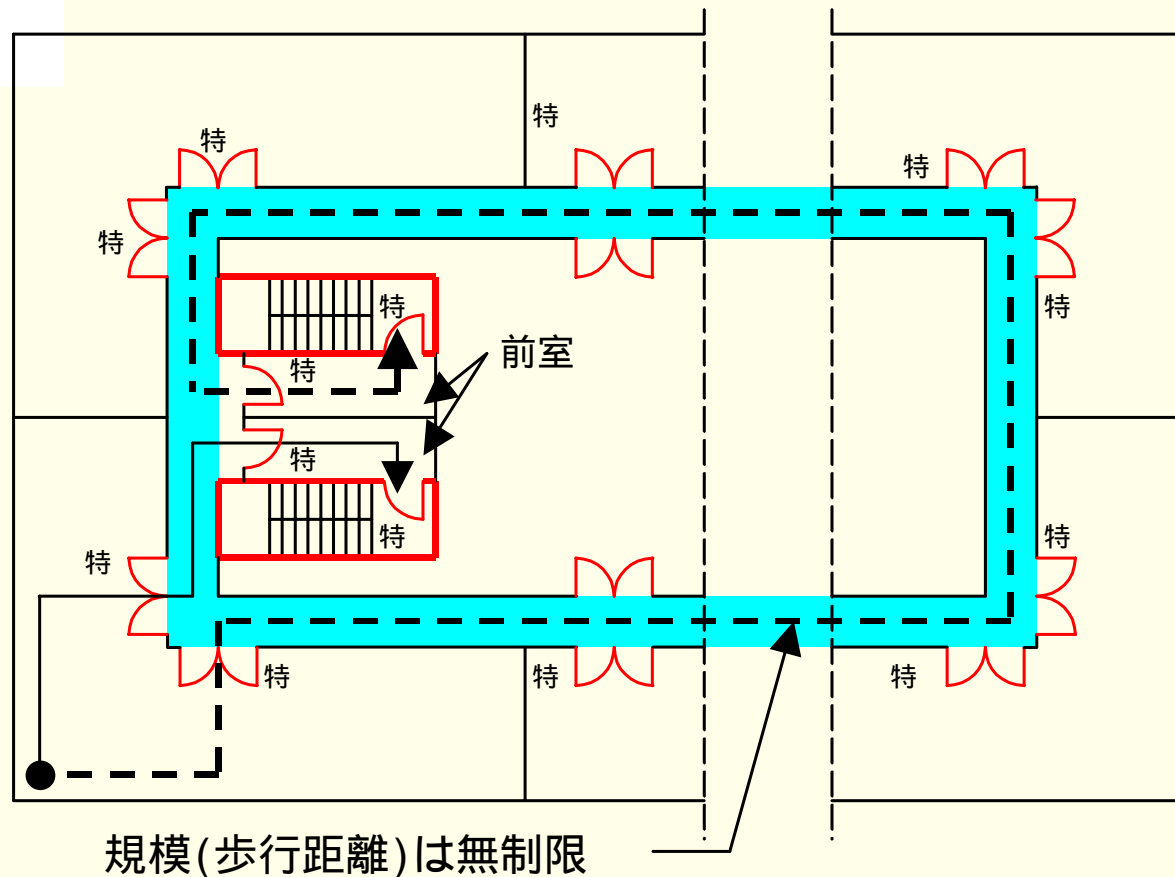
性能規定化して困ったこと

- # 検証法 = 「最低基準」としての検証
- # 建築防災計画評定の廃止

- # 性能設計の質が変化
 - 法規を満たしても必ずしも安全でない
 - 「不安全」の顕在化

性能規定化して困ったこと

✦ 抜け道を考えると...



性能設計は未だ遠く？

そもそも論として考えれば…

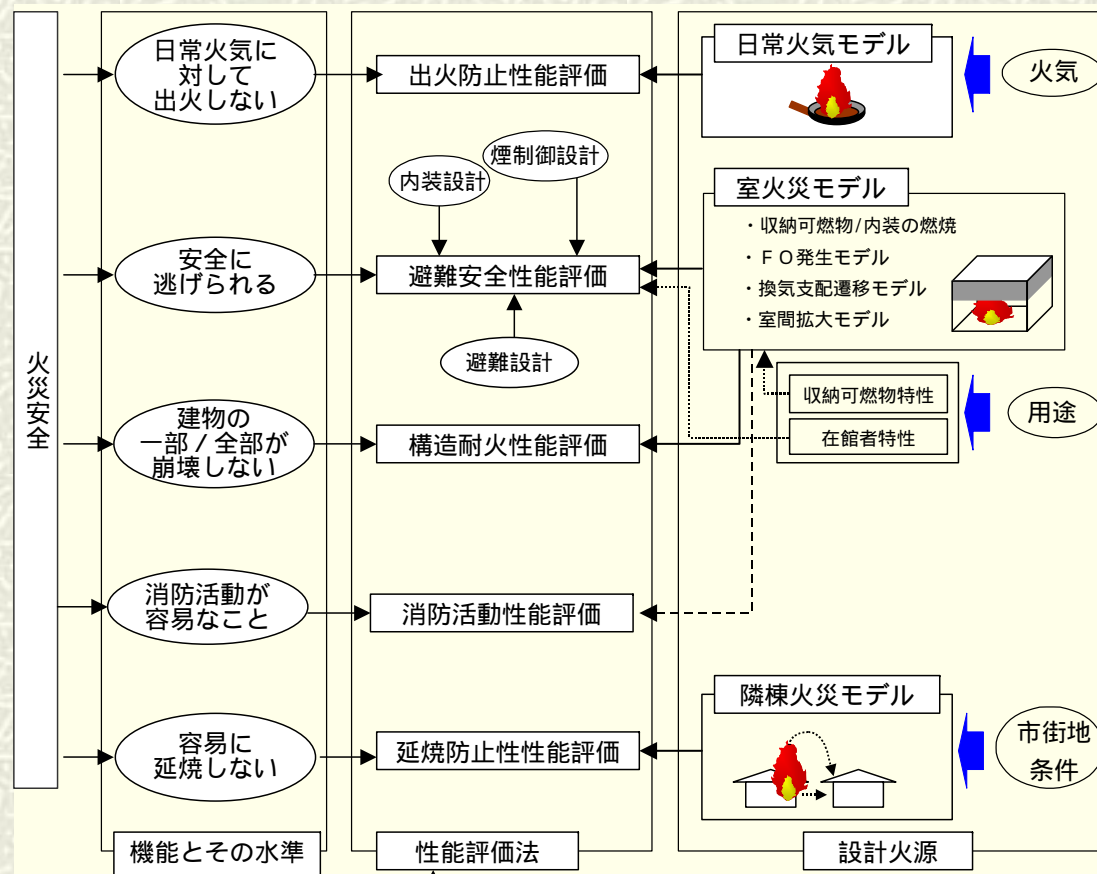
性能設計

約束した性能を満たす建物を実現すること

防火のプロは以前にも増して必要

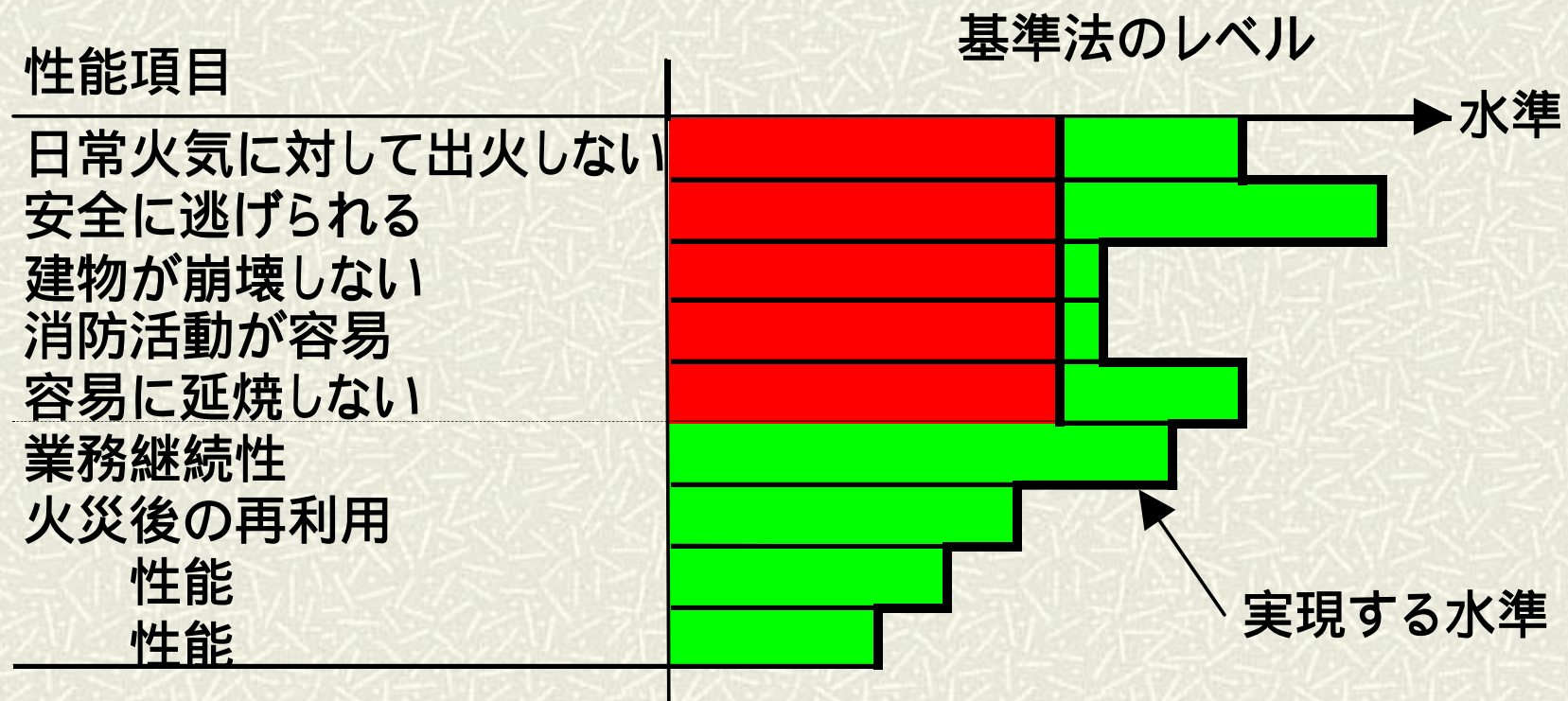
性能設計は未だ遠く？

Ⅱ 防・耐火総プロの性能評価体系



性能設計は未だ遠く？

例えば…



提言

- # 既存の方法の改善
 - やはり抜け道はない方が良い
 - # 法規よりも良いものを測るしくみ
 - 何が、どれだけ良いのか
 - # ユーザーニーズを掘り起こそう
 - 法規をパスするだけでは悲しい
-